

1 血液事業の現状

本県における血液事業は、昭和39年8月献血推進についての閣議決定以来、国内の医療で使用されるすべての血液製剤を献血によって確保することを目指し、400mL献血の推進と血液製剤の適正使用に力を入れてきたところである。

血液製剤が将来にわたって安定的に供給される体制を維持する必要があることから、関係団体と連携し、献血に対する正しい理解の促進や、若年層献血者及び複数回献血者の確保等の献血運動を推進するとともに、医療機関における一層の血液製剤の適正使用の促進に努めている。

【表1 年度別献血者数】 下段（ ）内は計画目標数（16年度から策定）（単位：人）

年度	200mL 献血	400mL 献血	成分献血	合計
H29	2 (5)	146,043 (145,224)	48,065 (51,466)	194,110 (196,695)
H30	6 (4)	145,968 (146,814)	52,159 (51,777)	198,133 (198,595)
R1	51 (0)	149,808 (145,077)	57,567 (57,794)	207,426 (202,871)
R2	65 (0)	148,546 (145,562)	64,262 (68,325)	212,873 (213,887)
R3	231 (0)	148,329 (146,061)	65,621 (67,974)	214,181 (214,035)
R4	576 (0)	150,375 (146,949)	64,265 (68,559)	215,216 (215,508)

※R4年度は見込み

【表2 令和3年度年齢別・性別献血者数】（単位：人・%）

年齢	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	計
男性	6,928	18,933	24,039	39,768	42,040	19,266	150,974
女性	2,453	10,647	10,219	15,382	17,215	7,291	63,207
計	9,381	29,580	34,258	55,150	59,255	26,557	214,181
構成比 (R2年度)	4.4 (4.0)	13.8 (13.5)	16.0 (16.7)	25.7 (27.4)	27.7 (26.7)	12.4 (11.7)	100.0 (100.0)

【表3 令和3年度献血による採血量】（単位：L）

区分	目標	実績
全血献血	58,424	59,378
小計	58,424	59,378
血漿成分献血	25,245	24,132
血小板成分献血	12,456	12,271
小計	37,701	36,403
合計	96,125	95,781